

厚生労働大臣表彰を受賞

● 県理容環境衛生同業組合常任理事 村井治美さん



▲生活衛生功労者に対する厚生労働大臣表彰を受賞した村井治美さん

平成23年度の生活衛生功労者に対する厚生労働大臣表彰を受賞した村井治美さん（74歳）は伊勢町が11月8日、市役所を訪れ、津谷市長に受賞を報告しました。

村井さんは、理容店を営む傍ら、理容師で組織する秋田県理容環境衛生同業組合の要職に就き、永きにわたり業界の発展と生活衛生の向上に尽力され、その功績が評価されました。現在は、同組合常任理事や同組合北秋支部長、秋田県生活衛生関係営業北秋田地方連絡協議会会長などを務められています。

村井さんは「今回の受賞は周りの方々のおかげ。特に理容組合の皆さん、家族の支えには感謝しています」などと感謝の言葉を述べました。

東北地区社会教育委員連絡協議会表彰を受賞

● 市社会教育委員 奥田稔さん



▲東北地区社会教育委員連絡協議会表彰を受賞した奥田稔さん

平成23年度東北地区社会教育委員連絡協議会表彰を受賞した奥田稔さん（73歳）は浦田が10月18日、市役所を訪れ、津谷市長に受賞を報告しました。

奥田さんは元小学校長で、平成14年に旧森吉町社会教育委員に任命され、合併後も社会教育委員として市の社会教育中期計画策定に関わるなど、広く社会教育行政に貢献され、その功績が評価されました。現在は、北秋田市社会教育委員の委員長や県社会教育委員連絡協議会理事を務められています。

奥田さんは「受賞は私一人だけでなく、みんなが助けてくれたおかげ。今後は新たな社会教育中期計画策定に向けてがんばりたい」などと感謝と今後の抱負を述べました。

第8回日本マスターズ柔道大会で優勝

● 市消防署阿仁分署の小坂重人司令補



▲第8回日本マスターズ柔道大会で優勝した市消防署阿仁分署の小坂司令補

第8回日本マスターズ柔道大会の90kg級で優勝した北秋田市消防署阿仁分署の小坂重人司令補（44歳）は摩当が11月14日、市役所を訪れ、虻川副市長に優勝を報告しました。

大会は11月5日、6日に千葉県勝浦市で開催され、小坂司令補は前年の新潟大会に引き続き今年も出場。年齢別体重別個人戦40歳、44歳クラスの90kg級で優勝、無差別級で3位に入賞しました。90kg級決勝の相手は、昨年決勝で敗れた選手で、小坂司令補は大内刈りで技ありを取り雪辱を果たしました。

報告を受け、虻川副市長は「明るい話題でうれしい。北秋田市消防本部のゼッケンを背負い、市のいい宣伝にもなります」などと祝福しました。

受章おめでとうございます

政府は文化の日の11月3日、平成23年秋の叙勲受章者と褒章受章者を発表しました。北秋田市からは、更生保護功労で保護司の藤原興道さんが「瑞宝双光章」、郵政業務功労で元日本郵政公社職員の小坂勝之さんが「瑞宝単光章」を受章されました。2人の経歴と功績をご紹介します。



藤原 興道さん
(坊沢字水上沢・70歳)

— 更生保護功労 —

瑞宝双光章

昭和55年から30年以上、保護司として保護観察対象者の更生を支援し、社会復帰への指導に熱意を持って取り組まれました。

昭和16年2月26日生まれ。駒澤大学を卒業後、同39年から同61年まで鷹巣農林高等学校定時制教諭、同61年から同63年まで公立合川高等学校の講師として教壇に立ちました。同63年から平成9年までは鷹巣町教育委員を3期9年間務め、委員長も務められました。

高校教諭を務める傍ら昭和55年に永安寺の住職に就任し、同年先住の後任として推薦され保護司に就き、主に鷹巣町の保護観察対象者を担当してきました。現在も現役の保護司として活躍され、北秋田地区保護司会会長、秋田県保護司会連合会副会長など要職も務められています。

受賞について「考えてもいなかった事で驚いている。定年まであと5年だが、後継者を育成するとともに犯罪のない社会を目指し、これからはがんばりたい」と力強く話していました。



小坂 勝之さん
(栄字岩坂・64歳)

— 郵政業務功労 —

瑞宝単光章

昭和44年から37年間、郵便局員として正確な集配業務に使命感を持って従事され、その堅実な仕事ぶりが高く評価されました。

昭和22年8月4日生まれ。鷹巣農林高等学校を卒業後、実家の家業である農業に就きましたが、昭和44年4月に郵便局員の道に進みました。その道を目指したのは、高校時代の郵便局でのアルバイト経験がきっかけでした。

最初の勤務地は、東京都の世田谷郵便局で、3年間主に集配業務を担当、当時は自転車での集配でした。その後、昭和47年には出身地の鷹巣郵便局に異動し、平成12年から総務主任として大館郵便局に1年間勤務した以外は、鷹巣郵便局で勤務し、長年集配業務に従事してきました。平成18年3月に鷹巣郵便局長代理で退職されました。

受賞について「みんなと同じ様に普通に仕事をしてきた」と控えめに語りながら、「家族の協力があつたからこそ仕事を続けられてきた」と感謝の言葉を述べていました。

市消防本部が総務大臣表彰を受賞

● 東日本大震災での救助活動で



▲総務大臣表彰を受賞し、津谷市長に報告する市消防本部の杉沢消防長ら

東日本大震災での救助活動で総務大臣表彰を受賞した市消防本部の杉沢敬輝消防長らが11月15日、市役所を訪れ、津谷市長に受賞を報告をしました。

市消防本部は、3月11日から4月21日までの間に、7人体制で1隊とした緊急援助隊を岩手県宮古市に3隊、宮城県登米市に1隊の計4隊が出動し、消火・救助活動にあたりました。

杉沢消防長は「人命救助を第一に考えて活動にあたったが、現場は消火、救急、遺体搬出が一度に行われている状態であった。今回このような表彰を受けたが、こういった活動は自分たちの仕事・使命と思っています。」などと話しました。